

# 競技注意事項

1. 2017年度、日本陸上競技連盟の規則により競技を行う。
2. 招集について

(1) 招集時間

	招集開始時間
トラック 競技	競技開始 15 分前
フィールド 競技	競技開始 30 分前

- (2) 招集場所
- トラック競技 競技スタート付近(リレー競技は各走者スタート位置)とする。  
フィールド競技 第3コーナー付近にフィールド招集所を設けます。  
直接競技場所へ行かずに、必ず招集所へ集まってください。  
招集完了時間は開始後 10 分とします。

各競技に出場する者は上記場所で、係員の点呼を受けること。

招集を受けない者及び遅れた者は競技に出場することができない。

(3) リレー種目はオーダー用紙を招集完了1時間前までに本部席に提出のこと。

そのうえ、所定の時間にスタート地点で点呼を受けること。

3. 各種目 8 位までの入賞者・チームは表彰を行うので、競技終了後、直ちに本部表彰控え席に集合のこと。  
リレー種目と兼ねている者は、指導者が責任をもって代理を出すこと。
4. トラックレース予選は全てタイムレースとし、決勝進出者 8 名を決定する。
5. 小学生走幅跳、ジャベリックボール投に関して  
3 回試技のあと、トップ 8 で残り 3 回の試技を行なう。
6. 中学生記録会のフィールド競技は 3 回試技とする。
7. 小学生走高跳は、危険防止のため「足から着地すること」すなわち正面跳、はさみ跳とする。
8. 走幅跳のピットはトラック側より A ピット、B ピットとする。  
走幅跳、ジャベリックボール投について 1 回目は全員計測するが、2 回目からは計測ラインを超えた者のみ測定する。計測ラインは、1 回目の結果から決定し、選手に通告する。
9. スターティングブロック、スパイクは使用してもよい。(素足は禁止する)
10. リレー競走におけるテーク・オーバーゾーン手前からの助走マーク (10m の補助ゾーン) は使用してもよい。  
但し、バトンの受け渡しはテークオーバーゾーン内で行うこと。
11. 小学生のトラック競技のスタートは日本語で行い、2 回フライングした者は失格となる。  
中学生は 1 回の不正スタートで失格とする。
12. 投てきの練習は、競技開始前に実施するので、旧補助競技場、競技場周辺での練習を厳禁する。
13. 競技場内へは、出場選手以外の立ち入りを禁止する。
14. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

15. 旧補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 内側の1・2レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 内側の3～6レーンは、流し等の専用とする。
- 外側の7・8レーンはハードル専用とする。
- ジャバリックボール投の練習は禁止する。
- 走路及びピットに立ち止まっての指導等をしてはいけない。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- 直走路の横断は禁止する。指定場所より、選手の妨害にならないように気をつけ、速やかに渡る。

16. 雨天練習場は使用できない。

17. その他

- 雨天時及び雨天後はオールウェザー部分は非常に滑りやすいので、アップシューズで参加する者は指導者が十分に注意の上、選手を指導すること。
- リレー競技は4名が同じユニフォームを着用すること。(違う場合は失格となる場合もある。)
- 競技場、ベンチ設置箇所は汚さないように気をつけ、清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。
- 持ち物の保管は各自で責任を持つこと。(盗難に注意すること。)
- フェンスへの横断幕の設置は禁止する。
- 選手の移動は、競技場内の外周を使用すること。
- 各種目8位入賞者(チーム)は三重県小学生陸上競技大会へ出場することができる。

今回の競技で8位入賞者以外で下記の標準記録を突破した者にも県大会への出場権が与えられる。

(追風参考は不可)

	男子	女子
3年 60m	10" 50	11" 00
4年 100m	16" 50	17" 00
5年 100m	15" 50	16" 00
6年 100m	15" 00	15" 50
5・6年 800m	2' 40" 00	2' 50" 00
5・6年 80mH	15" 00	15" 50
走高跳	1m15	1m10
走幅跳	3m80	3m50
ボール投	45m00	35m00

○所属チームの全競技終了後に県大会の受付を本部席にて行います。代表者は参加費を添えて申し込むこと。